



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社  
 コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河瀬 昌博  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務本部総務部長 (氏名) 朝見 弘志  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 06-6411-1051

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	22,090	3.0	397	6.3	406	8.0	266	
2019年3月期第3四半期	21,438	0.5	423	28.7	376	26.5	23	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 357百万円 ( %) 2019年3月期第3四半期 100百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	45.08	
2019年3月期第3四半期	4.09	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	39,073	19,628	50.2
2019年3月期	40,687	19,507	47.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 19,628百万円 2019年3月期 19,507百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		20.00	40.00
2020年3月期		20.00			
2020年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	2.2	680	11.3	600	7.4	430		72.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	5,912,999 株	2019年3月期	5,912,999 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,141 株	2019年3月期	872 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	5,911,979 株	2019年3月期3Q	5,841,392 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、相次いで発生する自然災害の影響を受けており、企業収益に関しては製造業を中心に弱含みで推移しております。加えて、海外経済は、通商問題の動向、金融資本市場の変動の影響等、不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは販売拡大および売上構成の改善を図るとともに、徹底したコスト削減や販売価格は正につとめたものの、納入先での人手不足による工事進捗遅れの影響が継続しており、資材価格や運送費の値上がりなど厳しい環境が続いております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は22,090百万円と前年同期に比べ651百万円の増加となったものの、営業利益は397百万円（前年同期比26百万円減少）、経常利益は406百万円（前年同期比30百万円増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年度に発生した災害影響が終息したこともあり、266百万円（前年同期比290百万円増加）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント毎の業績は次のとおりです。

#### <特殊鋼線関連事業>

(PC関連製品) 公共事業関連では、新設橋梁の減少やPC鋼材の使用量の少ない補修・補強分野の増加、人手不足による工事遅れの発生等の厳しい状況が継続するものの、プレキャスト需要は拡大しており、この分野での受注は堅調に推移しました。民需事業関連では、PCの新築建築市場が一服しているものの、プロジェクト案件の受注もあり、この分野でも受注は堅調に推移しました。PC関連製品全体としては、販売数量・売上高ともに前年同期比で増加となりました。

(ばね・特殊線関連製品) 自動車向けの弁ばね用鋼線（オイルテンパー線）およびステンレス鋼線では、米中貿易摩擦等の影響を受けており、ばね用ニッケルめっき鋼線においては、主力分野のプリンター向け需要の減少が継続しているため、それぞれ引き続き販売環境が悪化しております。しかしながら、ばね・特殊線関連製品全体としては、前年度に発生した災害影響が終息したことで、販売数量・売上高とともに前年同期比で増加しております。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は12,159百万円と前年同期に比べ690百万円増加となり、セグメント利益は514百万円と前年同期に比べ160百万円の増加となりました。

#### <鋼索関連事業>

国内においては、高速道路向け中央分離帯用ガードケーブルの需要が増加しているものの、土木・建築分野等で海外製品の流入増によって価格競争が激化しております。海外については、米中貿易摩擦の影響により中国向け需要に一服感が見られた他、中国・韓国を中心とした海外メーカーとの競争が激化しております。このような状況の中で、国内でのガードケーブル向け販売は増加した一方で、土木・建築分野向け販売は減少となった他、海外での受注は伸び悩んでおります。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は8,731百万円と前年同期に比べ92百万円増加となり、セグメント利益は37百万円と前年同期に比べ29百万円増加となりました。

#### <エンジニアリング関連事業>

土木・橋梁分野および建築分野向けの案件数が増加した一方で、交通・施設分野向けの案件数が大幅に減少しました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は1,149百万円と前年同期に比べ131百万円減少となり、セグメント損益は194百万円の損失（前年同期は22百万円の利益）となりました。

#### <その他>

不動産関連事業の売上高、セグメント利益はそれぞれ49百万円、38百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、1,613百万円減少の39,073百万円となりました。これは主として現金及び預金の減少によるものです。

負債は、1,734百万円減少の19,445百万円となりました。これは主として長期借入金の減少によるものです。

純資産は、120百万円増加の19,628百万円となりました。これは主としてその他有価証券評価差額金の増加によるものです。また、自己資本比率は50.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年11月6日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,169	3,530
受取手形及び売掛金	5,005	4,698
電子記録債権	2,144	2,347
商品及び製品	3,640	4,004
仕掛品	3,247	3,352
原材料及び貯蔵品	1,588	1,658
その他	1,085	726
流動資産合計	21,882	20,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,019	2,970
機械装置及び運搬具（純額）	5,313	5,363
工具、器具及び備品（純額）	161	126
土地	5,774	5,774
リース資産（純額）	3	10
建設仮勘定	109	77
有形固定資産合計	14,381	14,322
無形固定資産	305	261
投資その他の資産		
投資有価証券	1,615	1,754
退職給付に係る資産	1,107	1,154
繰延税金資産	1,214	1,087
その他	206	203
貸倒引当金	△25	△29
投資その他の資産合計	4,118	4,170
固定資産合計	18,805	18,754
資産合計	40,687	39,073

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,849	2,675
短期借入金	4,789	5,655
リース債務	2	3
1年内償還予定の社債	215	215
未払費用	1,274	1,060
未払法人税等	103	45
賞与引当金	594	229
設備関係支払手形	20	14
その他	636	647
流動負債合計	10,485	10,548
固定負債		
社債	1,837	1,622
長期借入金	4,280	2,536
リース債務	4	9
役員退職慰労引当金	7	6
環境対策引当金	14	11
退職給付に係る負債	4,459	4,614
その他	90	95
固定負債合計	10,694	8,897
負債合計	21,179	19,445
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	8,171	8,171
利益剰余金	2,789	2,819
自己株式	△1	△1
株主資本合計	19,022	19,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	230	311
為替換算調整勘定	137	159
退職給付に係る調整累計額	117	104
その他の包括利益累計額合計	485	575
純資産合計	19,507	19,628
負債純資産合計	40,687	39,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	21,438	22,090
売上原価	17,473	18,124
売上総利益	3,965	3,965
販売費及び一般管理費	3,542	3,568
営業利益	423	397
営業外収益		
受取利息	33	40
受取配当金	29	37
持分法による投資利益	15	—
固定資産賃貸料	32	31
受取保険金	47	40
その他	12	14
営業外収益合計	170	163
営業外費用		
支払利息	42	35
持分法による投資損失	—	2
出向者負担金	44	52
固定資産廃棄損	25	4
支払補償費	13	—
その他	90	59
営業外費用合計	217	154
経常利益	376	406
特別損失		
災害損失	390	—
特別損失合計	390	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△13	406
法人税、住民税及び事業税	52	42
法人税等調整額	△42	97
法人税等合計	10	140
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23	266
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23	266



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23	266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	81
為替換算調整勘定	△1	△2
退職給付に係る調整額	2	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	24
その他の包括利益合計	△77	90
四半期包括利益	△100	357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△100	357

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,469	8,639	1,280	21,389	49	21,438	—	21,438
セグメント間の内部売上高 又は振替高	336	242	63	642	—	642	△642	—
計	11,806	8,881	1,343	22,032	49	22,081	△642	21,438
セグメント利益	354	8	22	385	38	423	—	423

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,159	8,731	1,149	22,040	49	22,090	—	22,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	337	147	2	486	—	486	△486	—
計	12,497	8,878	1,151	22,527	49	22,577	△486	22,090
セグメント損益	514	37	△194	358	38	397	—	397

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。